

天竜川に関する図書の紹介

天竜川文庫所蔵図書リスト（例；表題が「天竜川」で始まる図書）

標題	著者	発行年月日	概要
天竜川	中日新聞社	昭和50.5.	水系と人脈 流域に培う風土 2万人のいのち水、についてまとめたもの (昭和48年から約1年間に新聞紙上に掲載した記事を補足して収録したもの)
天竜川	本島明子	1998.4	天竜市在住の作家の短歌集。
天竜川 4編	静岡県郷土研究外		静岡県郷土研究、磐南文化、流域をたどる歴史、東海展望にのせられた天竜川関係の研究成果をまとめたもの。非常に充実した内容である。
天竜川 河畔ものがたり	平井行男	平成元.3.1	大正時代の遠州地方の民俗史の一部/天龍下れば/遠州のお盆と大念佛/大正時代の小学校/小学校の遠足と郷土史/百姓の手伝い/大正時代の子どもの達の四季
天竜川 暮らしの中を流れる川 2冊	(株)ひくまの出版	1980.7.	すこしむかしの天竜川、天竜川の自然 伊那谷の民衆芸能等で写真入で記述されている。
天竜川 散策絵巻	村松昭		・源流から河口まで213km「天竜川散策絵巻」のつづら折り。 ・企画製作にサンクチュアリジャパン(代表・馬塚丈司)
天竜川 写真	角川書店	昭和31.6.	天竜川上流から下流までの写真集。
天竜川 水防誌	大橋亦兵衛	昭13.3.10	天竜川の水防、水防組合の沿革、東緑水防組合の水防及び組織の変遷をまとめたもので前編及び後編に分かれている。復刻版。
天竜川 その風土と文化	石川純一郎	昭和55.3.	流域の風土と文化について
天竜川 治水と利水	発行建設省浜松工事事務所 (社)中部建設協会浜松支所	平2.10.	昭和改修60周年記念を迎え、その歴史を振り返り、過去の資料文献を出来るだけ収集して事典的にまとめたもの。
天竜川 治水と利水 別冊資料	発行建設省浜松工事事務所 (社)中部建設協会浜松支所	平2.10.	河川調査成果一覧表。過去の調査、測量成果資料を昭和改修60周年記念にあたり主なものを本文の別冊としてまとめたもの。
天竜川 母なる川－その悠久の歴史と文化	(株)郷土出版社	2001.12.15	大河、天竜川が母なる川として歴史、民俗、文化を築きあげてきました。写真入りで紹介されていますのでよくおわかりいただけます。
天竜川 歴史の道 調査報告書	長野県教育委員会	平成2.3.31	文化庁の国庫補助金の交付を受けて「歴史の道(天竜川)」に関する調査報告書をまとめた。調査対象は天竜川及びその支川水系である。
天竜川・菊川川の流れと歴史のあゆみ	中部地方整備局 国土地理院	平成21.3	
天竜川絵図	天竜市		天竜川は諏訪湖から掛塚湊まで内山真龍が時の中泉代官小野田三郎右衛門に命じて作らせたと言われる。
天竜川絵図 2部	天竜市教育委員会		江戸時代後期の国学者内山真龍が、諏訪湖から掛塚湊までの絵図を約2カ月間を要して作成した、今から約200年前の絵図であり、目的は、当時の勘定奉行の巡見に供するために用意されたものと思われる。
「天竜川」絵画公募展	天竜市、天竜市教委	平成4.11.	天竜川をテーマに全国公募の350点の作品を審査して入選作品の第一回の絵画公募展よしたものです。
天竜川改修 沿革調査書 (複製版)	土木監督 鈴木治三郎	明治35.6	明治17年9月政府直轄河川に編入後、明治32年計画工事完成までの河川の状況及び改修工事の経営を記述したもの。
天竜川改修工事 成立経過概要	浜名郡15ヶ町村組合	大正12.6	天竜川の第二次改修着手までの経緯をとりまとめたもの。
天竜川岸に立って	前佐久間町長小原侃之輔	平成4.11.	天竜川水系の風俗、風習、祭、伝説、民話、芸能等について取りまとめたもの。
天竜川下りと二俣案内	天竜観光協会	昭和11.8.8	旧磐田郡二俣町内の観光や施設の案内書です。
天竜川現地調査報告書	経済審議庁国土総合開発審議会 水制度部会	復刻平2.3.、 昭28.7.	調査目的、経過 現地説明要旨 懇談会要旨
天竜川上流崩壊地調査報告書	天竜川上流工事事務所	昭39.6	調査目的、経過 現地説明要旨 懇談会要旨
天竜川水系の水質	沖野外輝夫	平成12.3.17	昭和48年信州大学理学部付属臨湖実験所に赴任した沖野外輝夫氏が水質を悪くするのも良くするのも人間次第ということを理解させるために調べあげた資料の集冊です。
天竜川治水史抄録	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	第1章～第9章の概要 彦助堤の記録写真(写真欠)
天竜川治水史料	建設省磐田工事事務所		天竜川関係の古文書集録。
天竜川治水年表 2冊	建設省磐田工事事務所 発行 天竜川治水促進期成同盟会	昭37.11.	昭和改修35周年記念としてまとめられたもの。
天竜川治水碑設立を祝して	天竜川治水促進期成同盟会	昭40.8.	左岸天竜川橋、新天竜川橋の間に設けられた治水祈念公園につくられた治水碑の設立を祝して配布された資料。
天龍川調査書 其一 2冊	内務省第四区土木監督署		天竜川を治めるにあたって流域を調査した昔の貴重な資料です。
天竜川と住民 災害の記録	杉山栄三郎	平6.2.1	天竜川の変遷、災害、治水の歴史と住民についてとりまとめたもの。
天竜川と東海道	天竜公民館	平成6.2.	天龍地区おいたち、東海道のそつての川と暮らし、なりわい、民話、文化等についてまとめたもの 写真1枚付
天竜川西縁流域全図 外2件		明治24.7	・天竜川西縁流域全図 ・改修工設計図 ・天竜川下流実況図
天竜川に沈んだ村 5冊	でんでんむしの会	昭62.11	現在の掛塚橋の下流側で浜松市側の天竜川川底に250年続いた村。古川寄合新田24軒、弥助新田27軒、十郎島8軒、合計59軒が先祖伝来の土地を手離し他郷へ移転したこの一連の語をまとめたものである。

標題	著者	発行年月日	概要
天竜川西派川締切工事について	芦沢英夫	昭和27.11	締切法線が決定するまでの経過 S27. 11. 21記/締切計画の概要/締切築堤工事/むすび
天竜川の育い立ち	天竜川治水史研究会(磐田)	昭36.7.	動きやまぬ地魂 古代にみる天竜のあしあと 沖積地の見方
天竜川の神人 一生と死の祭り	北川 天	1999.5.24	北川天(たかし)写真集 第一部 冬の祭り「霜月祭り」、第二部 正月の祭り「田楽・田楽遊び祭り」、第三部 盆の祭り「念仏踊り・送り火」 祭りごよみ、天竜川流域の祭り概略図
天竜川の帰化植物たち	木下進	平成13.3.30	長野県飯田市で行なっている植物調査の結集をもとに天竜川でみられる帰化植物を紹介しています。
天竜川のダム	東海展望		天竜川の佐久間ダムより下流域のダムについて、東海展望1956年2月～1967年8月に掲載された記事を複写して収録したものである。
天竜川の治水史 第一章 大洪水	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	古代の大洪水(早川小右衛門氏のまとめ)
天竜川の治水史 第二章 治水のはじめ	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第三章 明けゆく天竜川原	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第四章 名のおこり	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第五章 河道	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第六章 用水からうまれた左岸堤	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第七章 彦助堤という名の右岸堤	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第八章 うけつく水防思想	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川の治水史 第九章 国領の治水	建設省磐田工事事務所	昭41.3.	天竜川治水史抄録参照
天竜川百話	静岡新聞社	2007.7.12	天竜川の歴史・文化・動植物などの自然、淡水生物などのうつり変わりについて、平成17年から2年間にわたり新聞紙上で掲載した。中村洋一郎氏ら各分野の専門家18名の執筆である。
天竜川流域調査書 明治31年	内務省第四区土木監督署、発行建設省天竜川上流工事事務所	昭和63.12.	1. 河川表/運輸緒項/治水工費表/治水制及び沿革/その他、2. 地理/灌漑諸項/水害損耗価格表/山林取締方法、3. 流域面積内訳及び戸口表/水害区域内訳表/復築工費表/水防用材予備林
天竜川流域の暮らしと文化(下巻)	磐田市史編纂委員会	平成1.11.	上巻について、正業と信仰芸能伝承をまとめたものである
天竜川流域の暮らしと文化(上巻)	磐田市史編纂委員会	平1.11.	流域の歴史を軸として、天竜川の、治水と利水、交通の発達、風土と生活様式、信仰と芸能、行事と伝説などについて、磐田地方と、上流、中流域とのかかわりをさぐったものである。
天竜川流路之変遷	浜松市立中央図書館	昭28.11.25	天竜川流路変遷を第一期麓玉(あらたま)川時代(大和、奈良時代)から、第五期新天龍時代(江戸中期から現在)までの記述。
天竜峡 歴史と叙情一	今村良夫 今村眞直	昭和54.4.20	・命名の由来と朗慮 ・十勝の磨崖と鳴鶴 ・船下りと来遊の人びと ・峡谷の自然と文人たち ・船下りと異国の人びと ・珠玉の詩歌紀行文 ・姑射橋四代と暴れ天竜 ・この地の民謡歌謡から ・十勝の景と二十六話 ・天竜峡とその周辺
天竜峡紀行	今村眞直	1997.12.1	天竜峡の歴史と紹介、文芸作品について、とりまとめたもの
天竜市史 下巻	天竜市役所	昭63.12.	本史は近代から現代(市制施工)までの市域の歴史を記述したものである。
天竜市史 上巻	天竜市役所	昭56.8.	天竜市の自然環境を含め、原始、古代から近世までの市の歴史を、史実にもとづいて述べたものである。
天竜市誌 続史料編1 田代家文書一	天竜市教育委員会	平11.3.31	田代家は、北鹿島村の名主を渡船場の船越頭を勤める一方で、天竜川筏の受け継ぎ問屋も経営していた旧家で、寄贈されたおよそ1,800点の古文書は天竜川水運をはじめ、天竜川を基盤として生活した人々の様子がよくわかる史料であり、この「田代家文書一」では筏問屋と筏の天竜川の川下げの古文書を掲載。
天竜市誌 続史料編2 田代家文書二	天竜市教育委員会	平11.12.1	「田代家文書一」に続き、この「田代家文書二」では、鹿島十分一番所関係、鹿島渡船と上下通船にかかわる古文書を掲載。添付：北鹿嶋村絵図 元禄十一年九月作製(複写)
天竜市誌 続史料編3 田代家文書三	天竜市教育委員会	平13.2.28	田代家文書三」では、北鹿島村・川口村の運営と村人の対応や村人の暮らしにかかわる古文書を掲載。
天竜市誌 続史料編4 田代家文書四	天竜市教育委員会	平14.5.31	「田代家文書四」では、北鹿島村・西鹿島村・川口村の土地や年貢・村況と柑と脇大明神にかかわる古文書等を掲載。
天竜市誌 続史料編5 田代家文書五	天竜市教育委員会	平15.3.7	「田代家文書五」では、江戸時代の住民台帳ともいえる宗門人別帳を中心に掲載。
天竜市誌 続史料編6 田代家文書六	天竜市教育委員会	平16.3.31	「田代家文書六」では田代家の九代・十代・十一代当主にかかわる近代文書を掲載。
天龍に生きる 高齢者の語り	天龍村教育委員会	昭61.2	天龍村の高齢者が村に暮らす一つの道として、また可愛い子や孫のため、また近所の子供のため、ひいては村を愛する人々のためにも思い出として残すために文集として発行したものである。
天竜のながれ 天竜川改修40周年記念写真集 3冊	天竜川改修40周年記念行事委員会	昭42.5.	天竜川改修40周年を記念して過去の治水資料写真、現況等の写真を集録したもの。

標題	著者	発行年月日	概要
天竜の水・この大いなる生命(天竜川下流完工記念写真集)	東海農政、天竜下流農水	昭和59.11	・国営天竜川下流農業水利事業 完工記念写真集
天竜の水とともに	天竜川下流用水事業推進協力会	平成5.3.31	天竜川の下流域の治水・利水に尽力された方々のおことばと経済産業の発展に寄与された団体が紹介されています。
天竜川 魚	相場 啓誉	H17	40種以上も住む、天竜川の魚を漁師である著者が図鑑上にまとめて小学校に寄贈したものです。
天竜川下流部の昆虫	渡辺一雄 建設省浜松工事事務所	平成8.3.	「平成4年・5年河川水辺の国勢調査」/早春に見られるチョウ/成虫で越冬するチョウ/春から夏の河川敷/南からの訪問者
天竜川下流部の植物	建設省浜松工事事務所	平成8.3.	自然の宝庫天竜川の河口～船明ダムまでの植物を対象にして解説したものである。夏の植物、秋の植物、冬の植物、春の植物他の植物の様子。更に天然記念物、天竜川の利用と保全。
天竜川下流部の鳥たち	建設省浜松工事事務所	平成7.3.	天竜川下流部「水辺の国勢調査」の調査結果を編集。各シーズンの鳥類の生態及び河川敷、干潟等の状況を調査集録。
天竜川上流 河辺の植物と植生	関岡裕明	平成7.3.20	天竜川上流に育成している植物の姿を紹介し、河辺の植物に親しみが湧くように色々植物の様子を整理。
天竜川上流の主要な昆虫類 2000	天竜川上流・調査課	平成12.3	平成10年度に実施した陸上昆虫類調査結果をもとにして天竜川上流域に生息する昆虫類を整理して作成したものです。
天竜川上流の主要な植物	天竜川上流・調査課	平成10.3.	河川は優れた自然環境の一つであり、河川のもつ自然的な価値生態系の保持をし、はぐくむことが又河川環境整備と保全が重要使命であることを背景に基礎情報の収集整備のために「河辺の国勢調査」を実施した結果を整理したものである。
天竜川上流の主要な鳥類	天竜川上流・調査課	平成9.	「平成7年度天竜川上流河川の水辺の国勢調査」/天竜川上流部の鳥/鳥類と河川環境/鳥のからだ/鳥たちの生活/河川の鳥の見分け方/各論の見方
天竜川上流の主要な底生動物	天竜川上流・調査課	平成8.3.	「平成5年度 天竜川上流部河川の水辺の国勢調査」/天竜川上流域の姿/底生動物の見分け方/底生動物と環境 図鑑的図書
天竜川上流の主要な両生類・爬虫類・哺乳類 2001	天竜川上流・調査課	平成13.3	河川水辺の国勢調査アドバイザー・岸元良輔氏監修によるもので身近に感じることができる内容になっています。
天竜川の鳥たち	福与佐智子	平成9.3.15	1. 下伊那のアオサギ 2. アオバト 3. カワウの飛来 4. 昔の下市田河原 5. 人も鳥も 著者が9年間に味わった感動的な出来事等を集録。